

ガス給湯暖房機



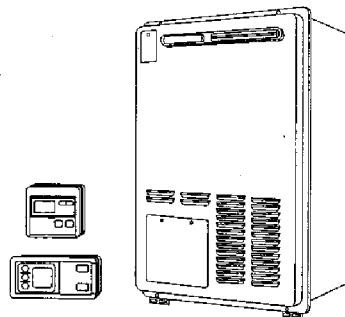
取扱説明書

型番(コード)	型式名	機能	設置方式
44-020型	AD-247RSA-JQ	1 温度タイプ	屋外式
44-021型	AD-247RSA-JQ-C		
44-022型	AD-247RSA-JQ-F		屋内式
44-023型	AD-247RSA-JQ-E		
44-024型	AD-247FSA-JQ	2 温度タイプ	屋外式
44-025型	AD-247RSA-JW2Q		
44-026型	AD-247RSA-JW2Q-C		
44-027型	AD-247RSA-JW2Q-F		屋内式
44-028型	AD-247RSA-JW2Q-E		
44-029型	AD-247FSA-JW2Q		

大阪ガスのお問い合わせ先

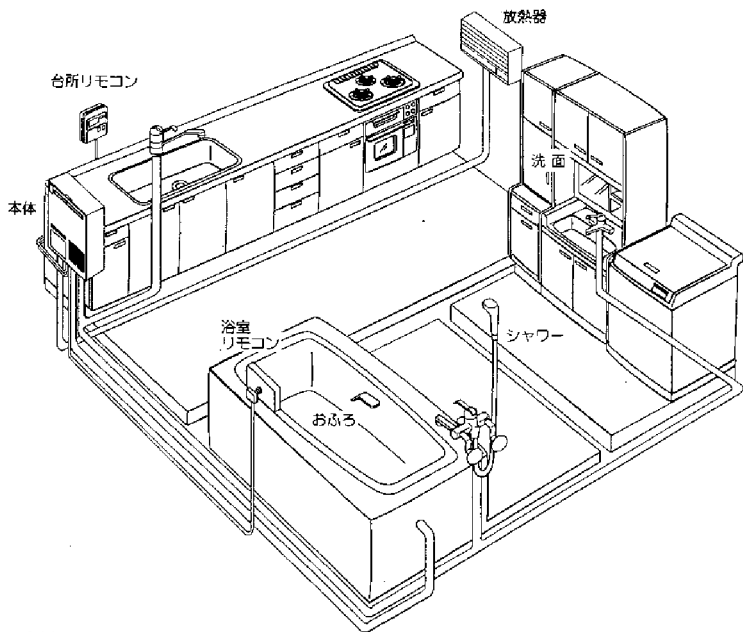
大阪事業本部 〒550 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 大阪 08(588)1122
 南部事業本部 〒590 堺市住吉南町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
 和歌山支社 〒640 和歌山府本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481
 北東部事業本部 〒578 東大阪市船場2-3-17 電話 河内 0729(82)1131
 北部事業所 〒589 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0728(71)0381
 奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
 兵庫事業本部 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
 姫路支社 〒870 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0782(85)2221
 豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221
 京滋事業本部 〒600 京都市下京区中堂寺薬田町1 電話 京都 075(311)7381
 滋賀支社 〒525 草津市西大路町5-34 電話 草津 0775(82)5311
 滋賀東支社 〒522 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131
 長浜営業センター 〒628 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(82)7171
 本社 〒641 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 08(202)2221

大阪ガス株式会社



リモコンですばやく給湯・お湯はり… 入浴が快適に!

- 適温・適量のお湯はりが完了すると自動消火するふる自動運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。



このたびはガス給湯機標準をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 ● ガス給湯機関係機器を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
 ● 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
 ● 業者等が熱源機を使用される時は、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
 ● この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもりの大坂ガスにて再購入してください。

● 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が短くなります。

入浴が快適に!

もくじ

必ずご確認ください

	ページ
● 安全上のご注意	4
● 使用上のお願	10

本製品は、ふるアダプターの種類によりお湯はり、湯がけん調節のしかたが異なります。ふるアダプターの形状を確認のうえ、正しくお使いください。

テラックスタイプ



(サーミスター付)

特長

- 4時間保温→あり
- お風呂を熱くするとき
→設定温度より2℃高くなると自動消火します。

スタンダードタイプ



(形状記憶合金付)

特長

- 4時間保温→なし
- お風呂を熱くするとき
→設定温度の高温水を供給すると自動消火します。

使いかた

	ページ
● 早見表	12
● 初めてお使いになるとき	14
● お湯の出しかた	16
● お湯はりのしかた	18
● お湯はり予約のしかた	20
● お風呂の湯がけん調節	22
● シャワーの使いかた	23
● 暖房のしかた	24
● 日常の点検とお手入れ	25

必要なときにお読みください

	ページ
● 故障かな?	27
● 凍結予防について	31
● 各部のなまえ	35
● 仕様	38
● メモ欄	40
● アフターサービスについて	43

必ず
ご確認ください

すぐ
使いたいとき

もし
必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

注意喚起

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

禁止

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

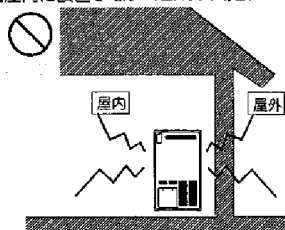
強制

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

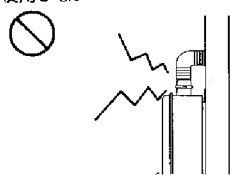
設置工事時のご注意

■屋内に設置しない(屋外式の場合)



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排ガスができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つままった状態で使用しない(給排気筒使用の場合)



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排ガスができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

警告

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする



運転
切/入

(旅行など、長時間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう(※32、33ページ参照))

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

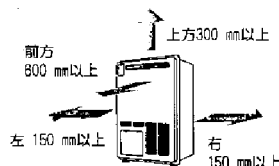
■燃えやすいものとは離す



(屋内式の場合)



(屋外式の場合)



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

ガス漏れ時のご注意

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社へ連絡する
ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする
(屋内式の場合)



もよりのガス会社へ
連絡する



そのままにしておく、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたリ電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

必ず
お守りください

安全上のご注意

必ずお守りください

給湯・シャワー使用時のご注意

■シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める



水側を先に止めるため配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

■混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位番まで回す



途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

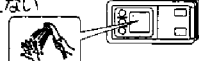
■混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります



やけど注意

急に熱い湯が出る場合があります。配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたりスイッチ「切」にされると冷水になりびっくりしてけがの原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

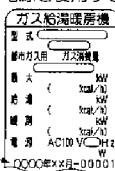


正常に機器が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



製造年月(例〇年×月製)を示します。



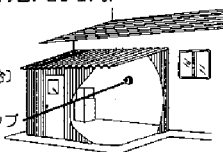
他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない(波板などにより囲いさない)

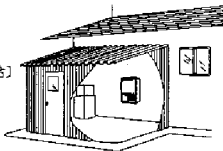


(屋内式の場合)

給排気トップ



(屋外式の場合)



十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。



警告

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源プラグ

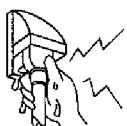
差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまること、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

■濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ぬじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

■スプレー缶を給排気口(トップ)の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■給排気口(トップ)をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

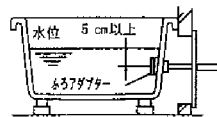
警告

■屋外に設置しない（屋内式の場合。ただしパイプシャフト設置の場合は除く）



炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■追いだきするときは水位がふるアダプターのセンターより5 cm以上、上にあることを確認する



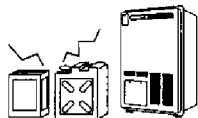
やけど、熱源機故障の原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうのふるアダプター付近に潜ったりしない



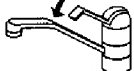
思わぬ事故の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

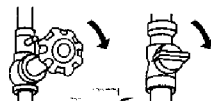
■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める

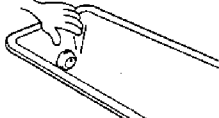


お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する



そのまましておくと火災の原因となります。

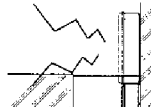
■追いだき（高温水供給）中は、ふるアダプター付近に触れたり、身体を近づけない



ふるアダプターから熱湯が出るので、やけどの原因となります。

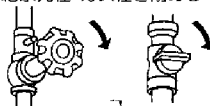
注意

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（据置設置の場合）



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■点検・お手入れ時は、次の手順に従う給水元栓・ガス栓を閉める



電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう（25-26ページ参照）

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない（フロントカバーを外さない）



分解禁止



不備が生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。販売店に依頼してください。

■給湯・シャワー・お湯はり・追いだき・温水暖房・浴室乾燥用として使用する



他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■凍結後再使用する際は、全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する



水漏れによる床や壁などの損害は、お客様の御負担となります。

■熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない



健康を損なう恐れがあります。（経用水としてお使いください。）

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確かめる



熱源機の異常を早期に見えなくなります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

必ずご確認ください

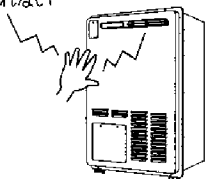
安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない

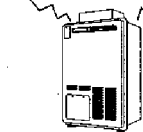


接触禁止



やけどの原因となります。

■熱源機の上のつたり、物をのせたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■浴室内のふるアダプターはタオルなどでふさがない



やけどや熱源機故障の原因となります。

■ソーラーシステム（太陽熱温水）に接続しない



高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

■床暖房の上に電気カーベットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーベット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

■パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）



やけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間すわったり寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

■お湯はり後の保温中は、浴そうの湯を排出しない（テラックスタイプ）



ふるアダプターから高温水が出て、やけどの原因となります。

使用上のお願い

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

■混合水栓を使用する場合ととき水だけを流す、またサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3~5℃)にする

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯（赤水など）が出る場合があります。

■硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。

■この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

■使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

■24時間風呂には、使用しない

24時間風呂への対応はしていません。

■断水のときは、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのまましておくこと熱源機故障の原因となります。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

■テレビやラジオとは1.5 m以上離す

上記の距離を保たないと雑音の原因となります。

■熱源機に「法定のステッカー」が貼付されていることを確認する（屋内式の場合）

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

■混合水栓を使用する場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

■停電のときは、給湯栓を閉める

燃焼が停止し、水になります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。


■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

必ず
お守りください

早見表

台所リモコン

 お湯を出す・・・P16

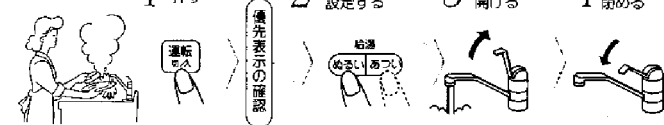
1 押す

2 給湯温度を設定する


3 給湯栓を開ける

4 給湯栓を開める

優先表示の確認



浴室リモコン

 お風呂にお湯をはる・・・P18

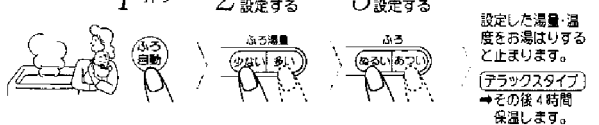
1 押す

2 風呂湯量を設定する


3 風呂温度を設定する

設定した湯量・温度をお湯はりすると止まります。

〔テラックスタイプ〕
→その後4時間保温します。



台所リモコン

 お好みの時間にお湯をはる・・・P20

1 押す

2 現在時刻を合わせる

3 押す

4 押す

5 予約時刻を合わせる

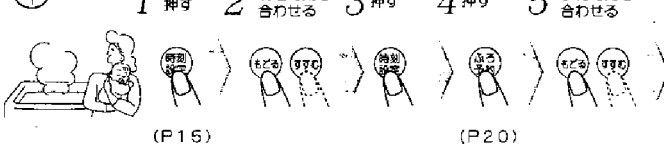
6 押す

予約時間に
お湯はりが
完了するよ
うに運転を
開始します。


お湯はり
が終わると運
転を停止し
ます。
(ブザーが鳴
ります。)

(P15)

(P20)



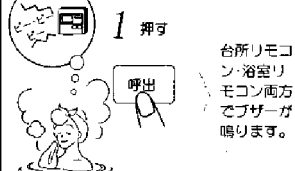
浴室リモコン

 お風呂から呼ぶ


1 押す

呼出

台所リモコン・浴室リモコン両方でブザーが鳴ります。



浴室リモコン

 お風呂を熱くする・・・P22

1 押す (約1秒)

2 押す

適温になったら

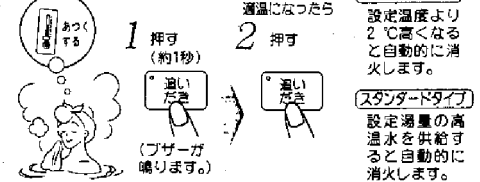
〔テラックスタイプ〕
設定温度より2℃高くなると自動的に消火します。

〔スタンダードタイプ〕
設定湯量の高温水を供給すると自動的に消火します。


暑いだき

暑いだき

(ブザーが鳴ります。)




浴室リモコン

 お風呂をぬるくする・・・P22


1 押す

約10 Lの水を
足すと止ま
ります。

冷たく



台所リモコン

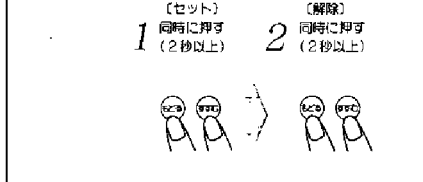
 暖房音をおさえる・・・P24

〔セット〕
同時に押す
(2秒以上)

〔解除〕
同時に押す
(2秒以上)

1

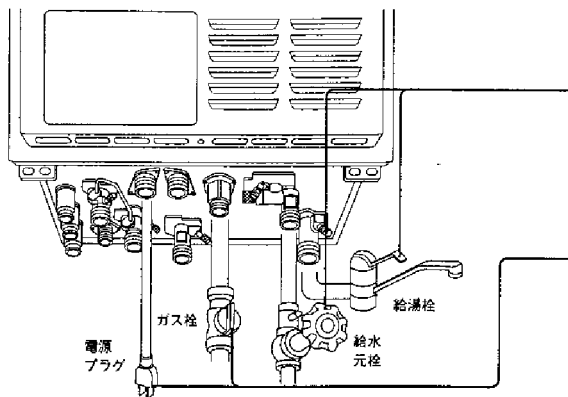
2



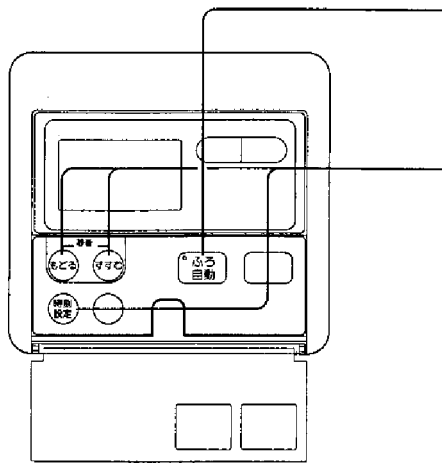
すぐ
使いたいとき

初めてお使いになるとき

本体

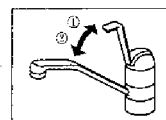
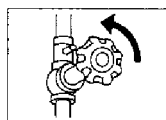


台所リモコン



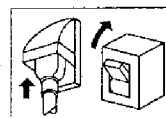
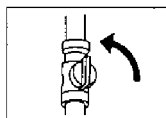
※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合と説明してあります。

1 ■ 水の出ることを確かめる



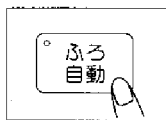
給水元栓
給湯栓を開ける
①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

3 ■ お風呂の湯が出ることを確かめる



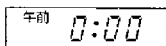
「ふろ自動」スイッチ
を押す

①浴そうに湯の出ることを確かめ、
②再度「ふろ自動」を押し、
湯を止める。

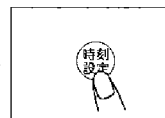
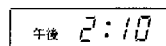
4 ■ 現在時刻を合わせる



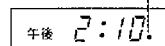
押す
「午前 0:00」が点滅。



「時」「分」を合わせる
例 午後 2時10分に合わせ。



押す
「●」が点滅。

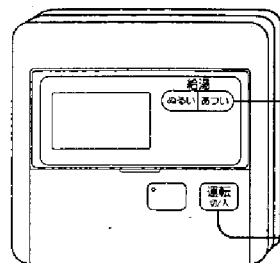


● ● スイッチは、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると
10分ずつ変わります。

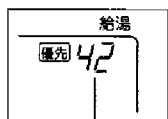
すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた (台所・洗面所)

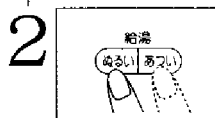
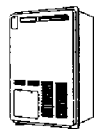
台所リモコン



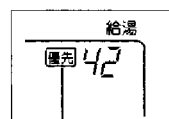
押す
(画面が表示していることを確かめる。)



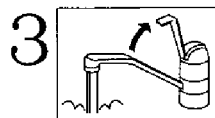
前回の給湯温度




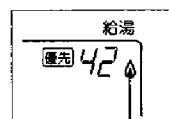
温度を設定する
●お湯の温度は約38～47℃の間と約60℃で設定できます。



優先表示
(下記参照)

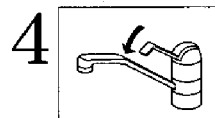



給湯栓を開ける
●「」が点灯。



給湯燃焼表示

■ 2回目以降は
→前回と同じ温度の湯が出ます。



給湯栓を閉める
●「」が消灯。



- 給湯とお湯はり(追いだし)同時使用の場合
→浴室リモコンの「給湯別込」が点灯し、お湯はり(追いだし)は待機します。
- 給湯栓を絞りすぎると→熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 運転スイッチ「切」の状態でも約10 Wの電力を消費しています。



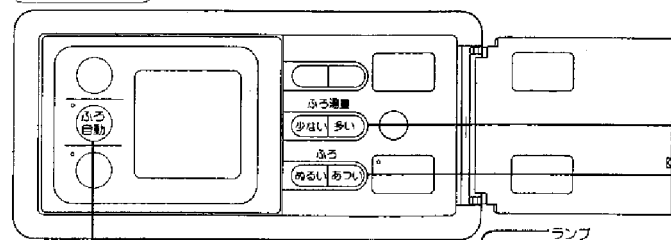
優先について

- 優先表示の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。
- 優先表示が消えているときは→浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
 - 浴室優先スイッチは→押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

すぐ
使いたいとき

お湯はりのしかた

浴室リモコン



準備: ①お風呂の排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをきいてお
いてください。



押す

- ランプが点灯。
- 設定した湯量・温度になると自動的に消火しブザーでお知らせします。

■途中で止めるとき

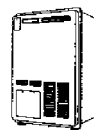
→再度 **お風呂自動** を押す。
(ランプ・**保温** [テラックスタイプ] が点灯)

■台所リモコンでもお湯はりできます

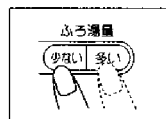
→台所リモコンの **お風呂自動** を押す。(浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。)



- お湯はり中は→リモコンの優先表示は消えます。
- お湯はり中は→水や空気が出る音がすることがあります。異常ではありません。
- 浅い浴そうのとき→湯量を多くするとあふれることがあります。

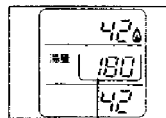


2



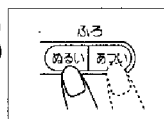
お風呂湯量を設定する

- 湯量は10、100～360(20しきざみ)、500 Lに設定できます。



湯量表示

3



温度を設定する

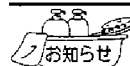
- 約35℃～50℃の間で設定できます。



お風呂温度表示

■お湯はりが終わると [テラックスタイプ]

→その後、4時間保温を続けます。(ランプ・**保温** 点灯)

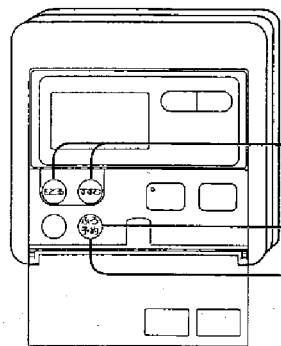


- 給湯とお湯はり同時使用の場合
→浴室リモコンの **給湯停止** が点灯し、お湯はりは待機します。
- スタンダードタイプは →保温はしません。
- 保温中(テラックスタイプ)、高温水を供給しますので、多少湯量が増えます。ときどき浴そうの湯量を確認してください。

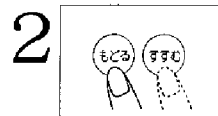
すぐ
使いたいとき

お湯はり予約のしかた

台所リモコン

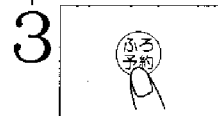


押す

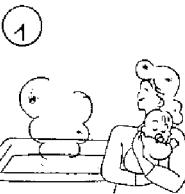


予約時刻を合わせる

- 押すごとに10分ずつ変わり、押し続けると1時間ずつ変わります。

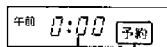


押す

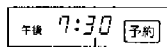


4 ほぼ予約時刻にお湯はり完了し、ブザーでお知らせします。

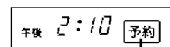
- 準備：①おふろの排水栓を閉じ、②浴そうのふたをきて、
③現在時刻を合わせ（※15ページ）
④浴室リモコンでおふろ湯量、おふろ温度を設定しておいてください。
（※18,19ページ）



点滅 点滅



点滅
● 例、午後7時30分のとき



点灯
● 予約時刻が記憶され、約2秒後、現在時刻に戻ります。

■ 取り消すとき

→再度 を押す。（ が消灯）



- お湯はり予約の待機中（お湯はり開始するまで）はおふろ自動・追いだし・ぬるめスイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示が消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温はしません。

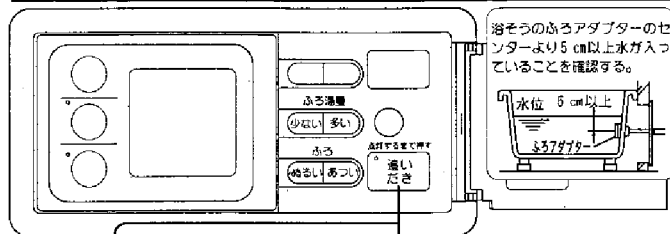


- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
→ を2回押して予約時刻を確認し、再度 を1回押す。
- お湯はり予約をしていない時に予約時刻を確認するとき
→ を1回押して予約時刻を確認し、再度 を2回押す。
- 2回目以降は → 手順1と3のみで予約できます。

すぐ
使いたいとき

お風呂の湯かげん調節

お風呂のお湯を熱くしたいとき(追いだき)



- 1 押す (約1秒) (ランプ点灯)
- 2 押す (ランプ消灯)

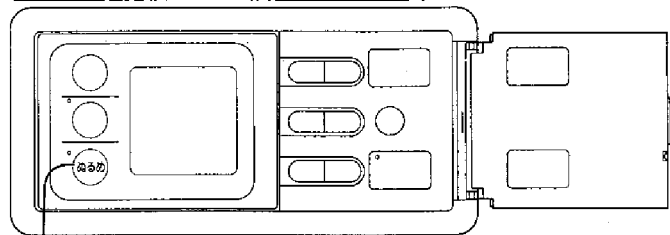
デラックスタイプ

→設定温度より2℃高くなると自動的に消火します。
 (温度を変更したいとき、お風呂の「ゆるい」「あつ」で変更できます。)

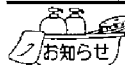
スタンダードタイプ

→設定された湯量の高温水を供給し、自動的に消火します。(湯量は20Lに設定されています。)
 (湯量を変更したいとき、お風呂湯量の「少ない」「多い」で10~100Lに変更できます。)

お風呂のお湯をぬるくしたいとき(ぬるめ)

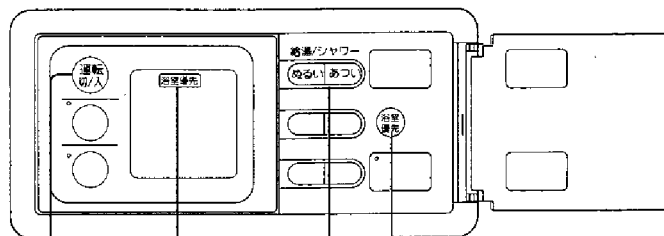


- 1 押す (ランプ点灯)
- 途中で止めるとき
 →約10L水を足し、一旦燃焼して止まります。
 (一旦燃焼するのは、機器内の湯温を保つためです。)
- 再度 (あつ) を押す。



- 給湯と追いだき同時使用の場合
 →浴室リモコンの「給湯別込」が点灯し、追いだきは待機します。
- 追いだき中は →高温水を供給しますので、多少湯量が増えます。ときどき浴そうの湯量を確認してください。
- ぬるめと給湯同時使用の場合 →ぬるめは停止します。

シャワーの使いかた



- 1 押す (画面が表示していることを確かめる。)
- 2 押す (浴室優先) 点灯を確認)
- 3 温度を設定する

お知らせ 優先について

優先表示のついている方のリモコンのみ、給湯/シャワー温度を設定できます。

- 優先表示が消えているときは
 →浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは
 →押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。



- 給湯とお湯はり(追いだき)同時使用の場合
 →浴室リモコンの「給湯別込」が点灯し、お湯はり(追いだき)は待機します。
- 給湯栓を絞ると →熱いお湯が出たり、消火することがあります。

すぐ
 使いたいとき

暖房のしかた

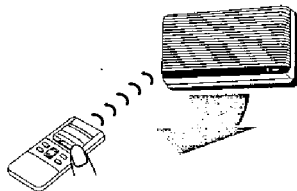
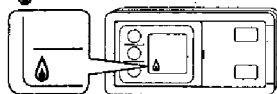
エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

エアコンを使用の場合


●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

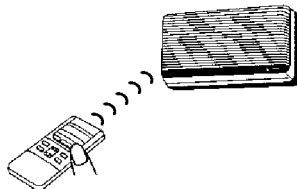
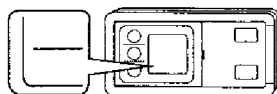
1 エアコンの 運転スイッチを入れる

・ ガス点灯。



2 エアコンの 運転スイッチを切る

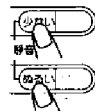
・ ガス消灯。



〔お知らせ〕暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

暖房中の運転音気がなるとき...

1 同時に押す（2秒以上）



浴室リモコン



台所リモコン

●**静音**が点灯
運転音を下げで運転します。
(暖房能力は少し低下します。)

2 再度、 同時に押す（2秒以上）

●**静音**が消灯

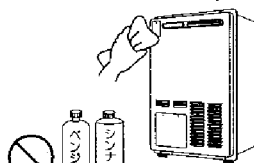
日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を開め、電源プラグを抜いて（ブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なってください。（定期的に行なってください）

お手入れの方法

本体

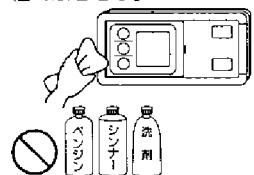
布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



【お願い】ベンジン・シンナーなどは使用しない！

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

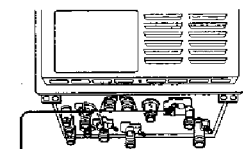


【お願い】ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

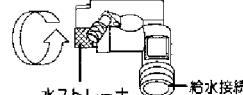
浴そう・洗面台

浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して青く変色することがあります。

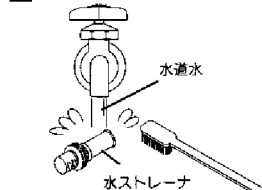
給水側水ストレーナ



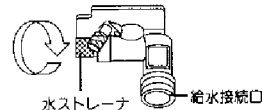
1 給水接続口にある水ストレーナをはずす



2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける

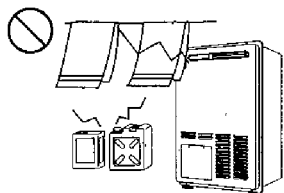


すぐ
使いたいとき

日常の点検とお手入れ

点検の方法

- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が染をはることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

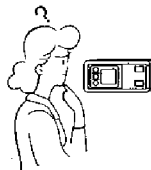
故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状

ご確認ください

運転（燃焼）しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていませんか。ブレーカが「入」になっていませんか。
- ガス栓が全開になっていませんか。
- 給水元栓が全開になっていませんか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。（※34ページ）
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
→ 点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（※25ページ）
- ガスメータに異常はありませんか。
（マイコンメータをお使いの場合マイコンメータのランプが点滅していませんか）

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていませんか。
- 湯と水の量（混合水栓）の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていませんか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（※25ページ）

リモコンの優先表示が点灯しない

- 浴室リモコンの優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。（※17-23ページ）

お湯はり、追いつきが止まらない



- 停電していませんか。

すぐ
欲しいとき

もし
必要とき

故障かな！？

● 次のような場合は故障ではありません。

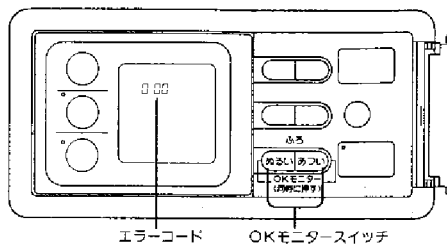
現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
給湯栓を急に閉めるとコトツと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
お湯はり(追いだし)中に浴そうのふろアダプターから空気が出て、「ポコポコ」と音がする	お湯はり(追いだし)中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
暖房中、  がついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて  がついたり消えたりします。
冬期、暖房を稼働していないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
給湯使用時、ポンプ運転することがある	暖房回路の水落ちを予防するためのポンプ運転です。異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

1 給湯バーナーの炎が消えた場合	給湯立消え安全装置
2 暖房バーナーの炎が消えた場合	暖房立消え安全装置
3 暖房回路の水が万一凍結した場合	空だき防止装置(暖房)
4 空だきした場合	空だき安全装置(給湯・暖房)
5 熱源機の温度が異常に上昇した場合	過熱防止装置
6 電気回路に漏電が生じた場合	漏電安全装置
7 過電流が流れた場合	電流ヒューズ
8 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合	過圧防止安全装置

上記1~7の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡してください。



エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。
OKモニタースイッチを2つ同時に約2秒以上押すと、画面表示部に過去のエラーコードを呼び出せます。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続30分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
111	給湯側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全閉であることを確認後、給湯栓を「開」にして再度「閉」にしてください。または追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。
721	給湯側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全閉であることを確認後、すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
723	暖房側の回路に異常がおきたため。	
	お湯はり(追いだし)中に断水したため。	再通水後、ふろ自動(追いだし)スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
412	追いだし時、浴そうのふろアダプターのセンターより約5 cm以上水が入っていないため。(スタンダードタイプ)	浴そうのふろアダプターのセンターより約5 cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、しばらくしてから再度「入」にしてください。
162	追いだし時、浴そうのふろアダプターのセンターより約5 cm以上水が入っていないため。(テラックスタイプ)	
	お湯はり時、浴そうの栓をきしていないため。(テラックスタイプ)	ふろ自動スイッチを「閉」にし、浴そうの栓をしっかり閉め、しばらくしてから再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」、補給水バルブが「開」(→35ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
000	停電したため。	再通水後、時刻を設定しなおしてください。
101	熱源機の燃焼に異常がおきたためです。	能力の低下した状態で使用できませんが、安全のため必ず点検を受けてください。(有料)
991	ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡してください。	

上記以外の表示がでる場合は、運転スイッチを一旦「切」にして再操作してください。

もし
必要などき

故障かな!?

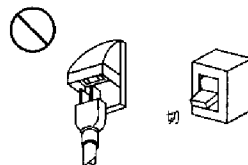
	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止しますが、水は出続けます。 給湯栓を閉してください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 給湯栓を閉してください。 <p>〈再通水後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止しますが、水は出続けます。 給湯栓を閉してください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒16ページ)によりご使用ください。
ふろお湯はり	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止しますが、ふろアダプターから水は出続けます。給水元栓を閉してください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 給水元栓を開け、使いかた(⇒16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後18ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒16ページ)によりご使用ください。
ふろ追いたき	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止しますが、ふろアダプターから水は出続けます。給水元栓を閉してください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 給水元栓を開け、使いかた(⇒22ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 追いたきスイッチを「切」にしてください。 エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後22ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 追いたきスイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒22ページ)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒24ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常は、正常運転します。 エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(⇒29ページ)により再操作してください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転は、停止します。 すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 使いかた(⇒24ページ)によりご使用ください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0〜10℃で無風のとき)

給湯・ふろ側

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

浴そらの水を排水してください。

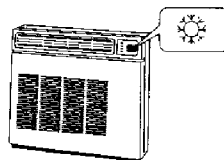
暖房側

- 外気温が0℃近くになると

自動的に凍結予防運転します。
(リモコンの暖房燃費表示「」が点灯)

- さらに寒さが厳しいときは

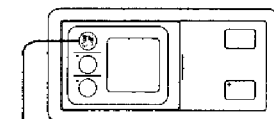
「」のある放熱器は運転スイッチを「」にする。



※配管・バルブの凍結予防はできません。

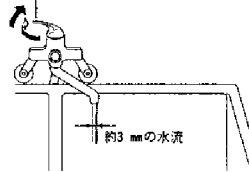
給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)

給湯側



1 運転スイッチを切る

2 給湯栓を開け、水を出しつづける



※電源を「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

ふろ・暖房側

左記の説明と同じます。

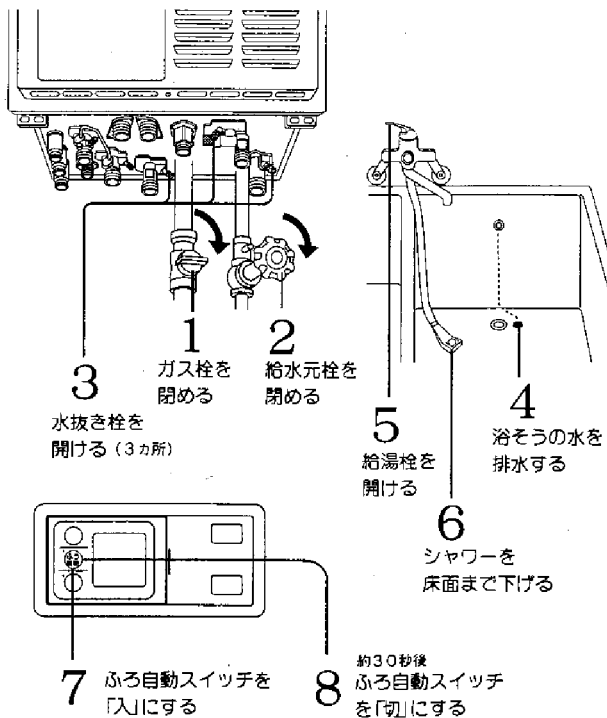
もし
必要とき

凍結予防について

水抜きをする (旅行など、長期不在のとき)

給湯・ふろ側

- ※配管・バルブの凍結予防はできません。
- ※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。
- ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。



※7,8を2~3回くり返す。 ※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

水抜きをする (旅行など、長期不在のとき)

暖房側

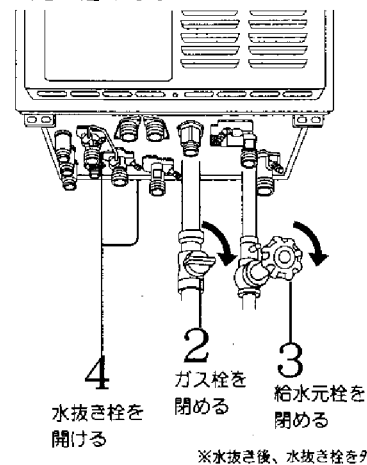
- ※不凍液の有無を確認してください。
- ※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
- ※配管・バルブの凍結予防はできません。
- ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕 水抜きの必要はありません。

〔不凍液が入っていない場合〕 水抜きをしてください。

- ※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
- ※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで確認できます。
〔不凍液が入っている時は「不凍液が入っています」とラベルでフロントカバーの右下に明示しています。〕

1 電源プラグを抜くまたは ブレーカを「切」にする

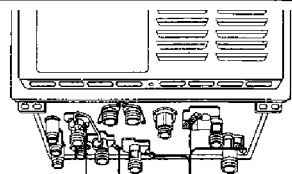


※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

もし
必要なとき

凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



水抜き栓

1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は14ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

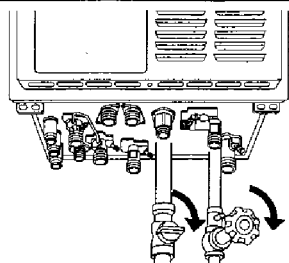
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき



ガス栓 給水元栓

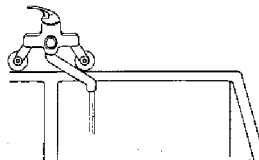
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する

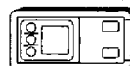
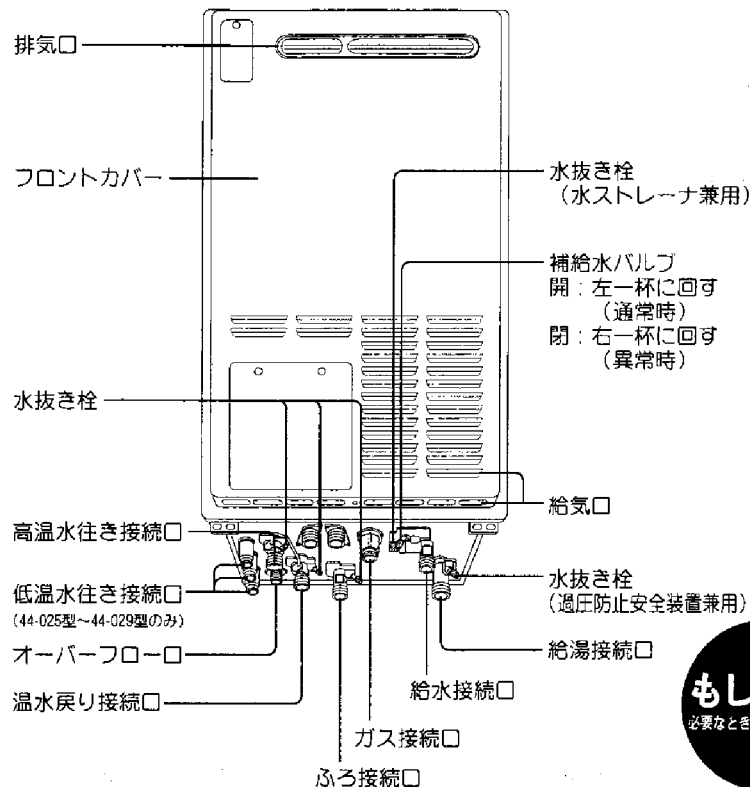


●凍結による修理は有料です。

お願い

各部のなまえ 本体

※イラストは44-025型の場合で説明してあります。



浴室リモコン

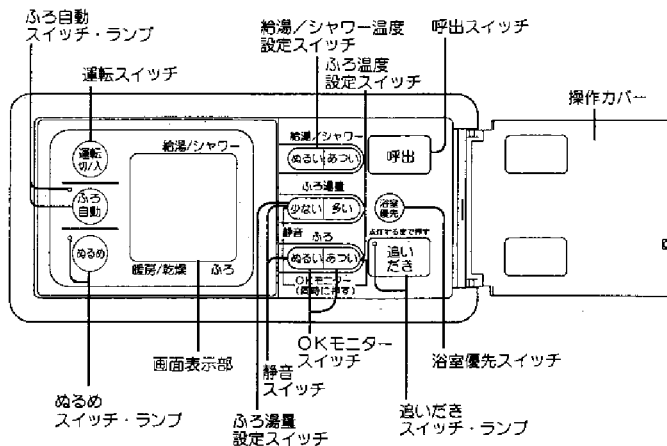


台所リモコン

もし
必要とき

各部のなまえ

浴室リモコン

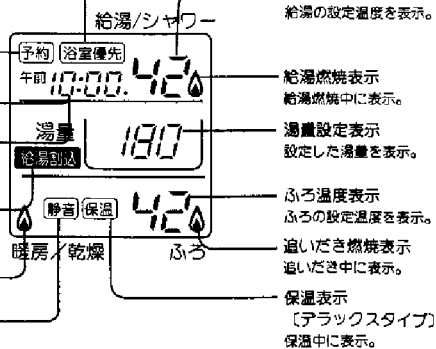


画面表示部

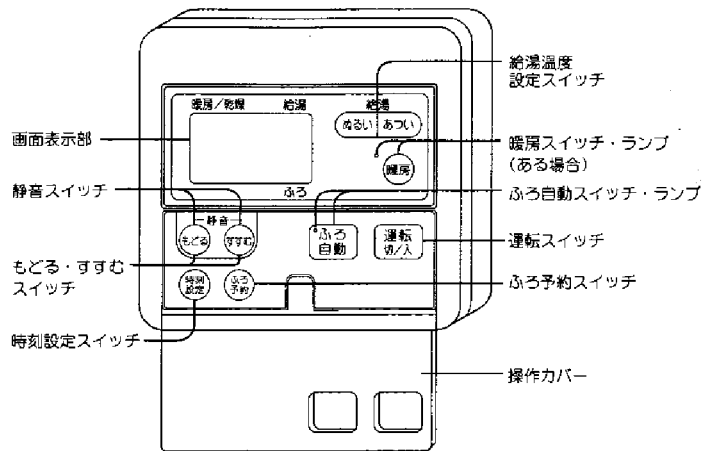
- 「給湯温度」「ふる温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。

浴室優先表示
表示中、給湯の温度調節
ができます。

予約表示
予約運転中に表示。
時刻表示
現在時刻を表示。
エラーコード表示
熱源機に不具合が生じた
とき表示。
給湯割込表示
お湯はり、追いだき給湯栓を
開いたとき表示。
暖房燃焼表示
暖房燃焼中に表示。
静音表示
静音運転中に表示。



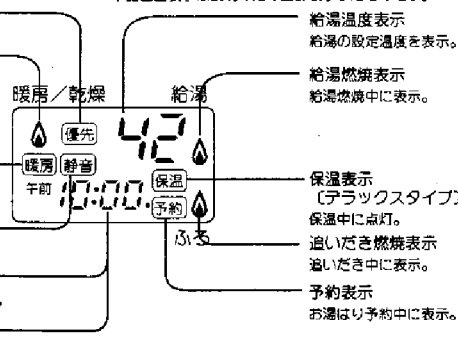
台所リモコン



画面表示部

- 「給湯温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。

優先表示
暖房燃焼表示
暖房燃焼中に表示。
暖房表示
暖房運転中に表示。
静音表示
静音運転中に表示。
時刻表示
現在時刻・予約時刻を表示。
エラーコード表示
熱源機に不具合が生じた
とき表示。



もし
必要なとき

仕様

機種名		ガス給湯暖房機			
型式	番(コード)	44-020~023型	44-024型	44-025~029型	44-029型
種類	給湯方式	AD-247R3A-JQ-C.F.E AD-247F3A-JQ AD-247R3A-JW2Q-C.F.E AD-247F3A-JW2Q			
設置	給湯方式	先止め式			
	暖房方式	温水循環式			
着火方式	給湯方式	強制排気方式			
	暖房方式	強制排気方式			
外形寸法(mm)	給湯・暖房体	ダイレクト着火			
	浴室リモコン	高さ750×幅480×奥行260			
質量(kg)	浴室リモコン	高さ96×幅188×奥行23			
	台所リモコン	高さ120×幅128×奥行23			
水圧(kPa)	使用水圧	100 (1 kg/cm ²)以上			
	動作水圧	15 (0.15 kg/cm ²)			
最低動作水量(L/分)	給湯	2.8			
	暖房	0以上(締切り使用可)			
ポンプ機外揚程	暖房	2.8			
	暖房	39.2 kPa (4.0 mH ₂ O) : 10.0 L/分のとき			
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式			
	暖房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式			
温度設定(°C)	台所リモコン	約38 ~ 約47 (1°C間隔)約60			
	浴室リモコン	約35 ~ 約50 (1°C間隔)			
給湯量制御方式	給湯シャワー	約38 ~ 約47 (1°C間隔)約60			
	暖房	高温:約80 低温(44-025~029型):約60 (55,65,70°Cに切換可)			
安全装置	給湯	水量比例制御方式(Q機能)			
	暖房	給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空燃比防止装置 空燃比安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・防凍器保護装置・漏電安全装置			
消費電力(W)	運転時	210	230	220	240
	運転停止時	10			
接続	凍結予防運転時(最大)	220			
	ガス	R ₂ オネジ(20A)			
給水	給湯	R ₂ オネジ(15A)			
	暖房	高温往		G ₂ (20A)	
暖房	低温往	—		指形管用差込ジョイント	
	戻	G ₂ (20A)			
オーバーフロー	ふ	R ₂ オネジ(15A)			
	電	R ₂ オネジ			
給排気接続	電	本体電源 AC100V 50Hz 3心(うち1心アース用)			
	給排気接続	浴室リモコン2心・台所リモコン2心			
付属品	給排気接続	屋内式: 給気口φ80、排気口φ80			
	取説	取扱説明書・工事説明書			
品番	品番	AD-247R3A-JQ	AD-247F3A-JQ	AD-247R3A-JW2Q	AD-247F3A-JW2Q

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)				標準出力 kW (kcal/h)		
	全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時		
最大		最小	給湯		暖房		
都市ガス用	13A	48.8 (42 000)	35.0 (30 100)	6.70 (4 900)	17.4 (15 000)	27.9 (24 000) (16号)	14.0 (12 000)
LPGガス用		48.8 (3.50 kg/h)	33.7 (2.42 kg/h)	6.70 (0.40 kg/h)	16.7 (1.19 kg/h)	27.9 (24 000) (16号)	14.0 (12 000)

都市ガス用13A・LPGガス		
出湯能力 L/分	水温+25°C上昇	[16.0]
(水圧:100 kPa) (kg/cm ²)	水温+40°C上昇	10.0

● 給湯能力の〔 〕内は、水温+25°C上昇に換算した相当出湯能力です。

もし
必要などとき

メモ欄

もし

必要なとき

アフターサービスについて

保証書について

- 別添の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

サービスを依頼される前に

- まず27～30ページの「故障がない?」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印)
 2. 品名……………ガス給湯暖房機
型番……………熱源機本体のフロントカバーに
表示してあります。 〈44-020の場合〉
 3. お買い上げ日
 4. 故障または異常の内容
(エラーコードなどできるだけ詳しく)
 5. 訪問ご希望日

(N) 44-020 (U)
大阪ガス株式会社
744 020 09
(AD-247RSA-JQ)

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

転居または機器を移設される時

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- 増改築などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

もし
必要とき